

1. 与野本町通りのこれまでの取組

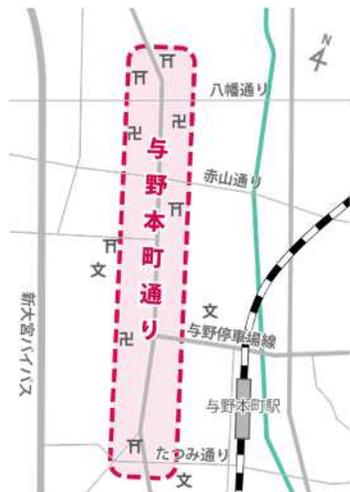
『与野本町通り街並みづくり会議』が考えるこれからの与野本町通り

与野本町通りでは、「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」に基づき、「歴史を伝える本町通りのまちづくり」の取組を進めています。

令和4年3月22日には、現道を活かした整備を検討するため、「与野本町通り街並みづくり会議」（以下、街並み会議とする。）を設立しました。

与野本町通りを暮らしやすく魅力ある通りとするために、現道でもできる・やるべき対策を検討し、街並みルールとしてとりまとめることを目標に、検討を進めています。

令和4年度は、街並みルール（地域住民による自主的なルール）の土台となる、まちづくりの方向性（将来像や重要視点等）の整理を行い、街並みづくり方針としてとりまとめました。



与野本町通りの位置図



「歴史を伝える本町通りのまちづくり」のイメージ(与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランより抜粋)

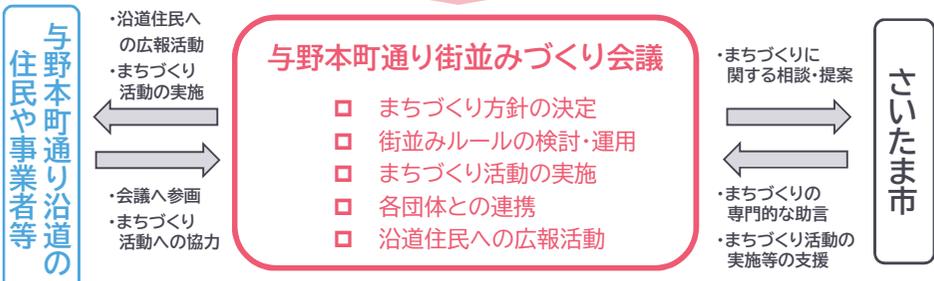
与野本町通りとは

与野本町通りは、古くから“市(いち)”の立つ町として栄えてきました。沿道には、市場の名残である前庭のような空間（前庭空間）が残っています。その空間は市の開催場でもあり、商品の荷さばき場ともなっていたといわれています。

現在では車の交通量が多く、都市計画道路に指定されているものの、事業化には時間を要するため、安全対策が求められています。

沿道の建物も日々更新されており、“歴史的景観や沿道空間”が失われつつあります。新しい時代の街並みと歴史ある与野本町通りを将来へつなげていくために、今、考えるべきことがあります。

与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン



“与野本町通り街並みづくり会議”の位置づけ・体制

2. 与野本町通りの現状と課題

良い点・魅力

- 氷川神社、一山神社、円乗院、庚申堂などの歴史的資源がある
- 蔵造りや門など、昔ながらの与野の趣(おもむき)を残している建物がある
- 奥に続く長細い敷地が与野本町通りらしいと感じる
- 住宅地にも緑が感じられる場所がある
- 人々が集まるイベントやお祭りがあり、活気がある
- 駅や公園に近くて便利
- 歩行空間を拡幅する交通社会実験で歩きやすくなった

歴史のある蔵造り住宅



ひと休みできる！



人が集う空間

悪い点・問題

- 古い街並みが失われ、歴史的な通りの雰囲気を感じられない
- 街並みを楽しむことが少なく、活気を感じることができない
- 昔の街並みと変わりすぎていて、昔の風景を思い出せない
- 車と歩行者の交通量が多く、歩道も狭いため危険である
- 交差点付近の歩行空間、歩行者滞在スペースがない
- 近隣住民同士のコミュニケーションが減った
- お店が減って寂しい雰囲気になっている

建物の高さや外壁がバラバラ



車の音や振動

歩きにくい歩行空間

歩行空間が狭い・危ない

課題

- 安心、快適に通行できる歩行空間の創出
- 蔵造り住宅や古民家の景観の維持
- 歴史的資源を活かした活気を感じるまちづくり
- 住民同士、更には地域外の人とも交流がある明るいまちづくり

3. 与野本町通りが目指す将来像

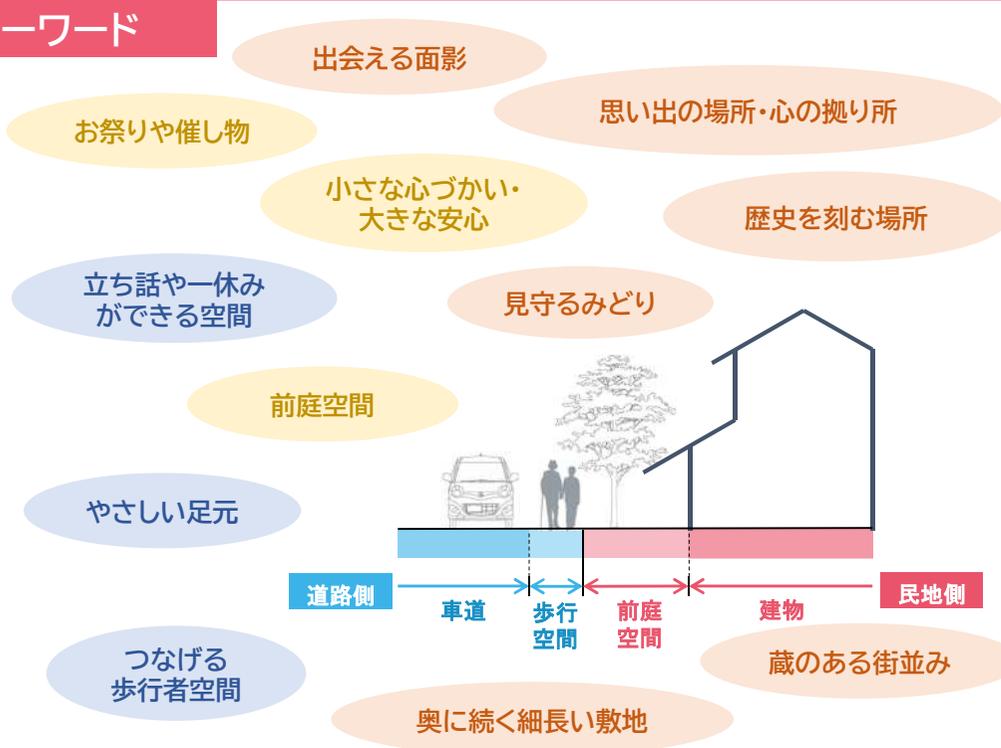
これまで継承してきた空間を活かし、
地域の人や訪れる人が、安心して楽しみながら歩ける与野本町通り

街並み会議で与野本町通りの現状と課題を踏まえて議論を重ね、「こんな与野本町通りにしたい」との思いが込められた「与野本町通りが目指す将来像」を設定しました。与野本町通りに残る良さ(歴史ある神社仏閣や蔵造りの建物、前庭空間)を守るとともに、その空間を活かしながら、安心して歩くことができる沿道空間を地域の人みんなで創り上げていきます。この将来像を掲げながら、住んでいる人や働いている人が、日常に豊かさを感じ、時には賑わう一面もあるような、暮らしやすいと思える与野本町通りを目指します。



4. 将来像実現のためのキーワード

与野本町通りが目指す将来像を実現するため、民地側の建物や前庭空間から取り組むことができる「与野本町通りのこれまでの空間の継承」と、道路側と一体的に取り組んでいく「安心・快適に歩ける空間の創出」により、「与野本町通りのこれからの交流の創出」を基本方針として、街並みづくりを考える際の重要なポイントをキーワードで抽出しました。



キーワードの例 蔵のある街並み

与野本町通り沿いには、江戸時代末期から明治時代中頃まで、度重なる大火から命や財産を守るために、「蔵造り住宅」が建てられました。



また、その他にも風情のある木造建築物や趣深い門などが通りのあちらこちらに見られます。

こうした建築物により形作られる街並みは、与野本町通りのこれまでの歩みや、街に対する地域の人々の想いや誇りを表しているといえます。

お祭りや催し物

氷川神社や一山神社などで行われるお祭りや、前庭空間で開かれた市(いち)など、昔から定期的に他地域の方々も多く参加する楽しいイベントが開催され、地域ににぎわいをもたらしています。



出典:与野郷土資料館

今後も昔から続くお祭りを継承するとともに、前庭空間等を活用した新しいにぎわいの催し物が開催されることにより、これからも交流が続いていくのではないでしょう。

5. 街並みルール策定に向けて

令和5年度以降は、「将来像実現のためのキーワード」をもとに、具体的にどのような取組をすれば将来像を実現できるのか、その内容や街並みルール(手法やルールの強制力)について検討していきます。令和7年度以降は、街並みルールを運用しながら、前庭空間の活用やイベント等の開催を目指します。

令和4年度

・街並みづくり方針(将来像・まちづくりキーワード)の決定

令和5年度 令和6年度

・街並みルールの検討(具体的に、どのような取組をしていけば良いか)
・前庭空間活用の検討など

街並みルールの策定

令和7年度以降

・街並みルールの運用開始
・前庭空間の活用
・イベント等の開催

- 問合せ先 -

与野本町通り街並みづくり会議 事務局

さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所
〒338-8686

さいたま市中央区下落合5-7-10(中央区役所4階)

電話:048-840-6153(直通)

FAX:048-840-6155

メールアドレス:yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp